

# 令和4年度「日本史B」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3	普通科・理数科・美術科	地理・歴史	日本史B	4	選択
<b>教科書</b>	詳説日本史B改訂版 山川出版社				
<b>副教材</b>	改訂版詳説日本史B整理ノート 山川出版社 図説日本史通覧 帝国書院				

学習の目的
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民になること。</li> <li>2 あわせて、日本および世界の歴史と生活・文化について認識を深めること。</li> <li>3 そのために必要な知識の理解と技術を習得すること。</li> </ol>

学習の目標						
<table border="1"> <tr> <td><b>I</b> 知識・技能</td> <td>我が国の歴史の展開を諸資料に基づき考察し、歴史の構造とその変化を理解する。</td> </tr> <tr> <td><b>C</b> 思考・判断・表現</td> <td>歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。</td> </tr> <tr> <td><b>E</b> 学びに向かう力・人間性等</td> <td>日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。</td> </tr> </table>	<b>I</b> 知識・技能	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき考察し、歴史の構造とその変化を理解する。	<b>C</b> 思考・判断・表現	歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。	<b>E</b> 学びに向かう力・人間性等	日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。
<b>I</b> 知識・技能	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき考察し、歴史の構造とその変化を理解する。					
<b>C</b> 思考・判断・表現	歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。					
<b>E</b> 学びに向かう力・人間性等	日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。					

<b>つきたい力</b>	理解力 考察力 多面的にとらえる力 歴史的思考力 世界史や地理と関連付ける力 客観的で公正な判断力 資料活用能力 探究力 表現力
--------------	--

評価方法	I	C	E
◇ 定期考査は1学期期末、2学期中間・学年末の3回実施する。定期考査は成績の8割分。	○	○	
◇ 各学期ごとに授業ノートを確認する。	○	○	
◇ 課題の取組状況。		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 授業の前に教科書をよく読んでおくこと。</li> <li>◇ 授業では説明をよく聞き、ノート空欄の答えだけでなく、説明された事項など自主的にメモをとること。</li> <li>◇ 歴史事象の背景や、他の事象との因果関係を考えながら学ぶこと。</li> <li>◇ 教科書中の表・グラフ・地図を読みとり、その意味することを考えること。</li> <li>◇ 授業の復習を必ず行うこと。</li> <li>◇ 1年間の授業内容が概観できるグラフィックシラバスです。</li> </ul>

## 年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考查	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	第1章 日本文化のあけぼの 1文化の始まり 2農耕社会の成立 3古墳とヤマト政権	○旧石器文化・縄文文化の社会について考察させる。○環濠集落や武器の出現、『魏志』倭人伝などの文献資料に基づき、多角的に考察させる。○古墳などの変容からヤマト政権成立までの過程を考察させる。		○日本列島の歴史はいつどのようにしてうまれたのか。○倭国は中国・朝鮮半島とどのように関わったのか。	○	○	○
	5	第2章 律令国家の形成 1飛鳥の朝廷 2律令国家への道 3平城京の時代	○天智朝・天武朝を中心に、律令体制整備を考察させる。○平城京における律令体制が整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなども踏まえて考察させる。○政界における藤原氏の進出、墾田永年私財法による初期荘園の誕生などを踏まえて考察させる。		○ヤマト政権の政治改革の特徴を東アジアの視点から説明せよ。○倭国は大陸との交流のなかでどのような国家をつくったか。	○	○	○
	6	4天平文化 5平安王朝の形成 第3章 貴族政治と国風文化 1摂関政治	○国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察させる。○藤原北家の発展過程を理解し、荘園の拡大など律令体制の変容をとらえて、摂関政治を考察させる。	期末考查	○摂関政治はどのようにして始まったのか。	○	○	○
	7	2国風文化 3地方政治の展開と武士 第4章 中世社会の成立 1院政と平氏の台頭	○国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察させる。○荘園公領制が明確化されたことを踏まえて、院政の政治構造や社会を理解させる。		○武士はどのように勢力をひろげていったのか。	○	○	○
第2学期	9	2鎌倉幕府の成立 3武士の社会 4蒙古襲来と幕府の衰退 5鎌倉文化	○幕府と朝廷の二元的支配構造や封建制度の成立を考察させる。○執権政治の確立を踏まえ、武家政権の形成を考察させる。○鎌倉新仏教が成立した背景などを考察させる。		鎌倉幕府の成立は社会にどのような影響を与えたのか。	○	○	○
	10	第5章 武家社会の成長 1室町幕府の成立 2幕府の衰退と庶民の台頭 3室町文化 4戦国大名の登場	○鎌倉幕府の滅亡、建武の新政を踏まえて南北朝の動乱を考察させる。○南北朝・北山・東山文化を通じて、武家・公家文化の融合、禅文化の果たした役割などを理解させる。	中間考查	対外交易や貿易の拡大は日本の生活や文化にどのような影響を与えたか。	○	○	○
	11	第6章 幕藩体制の確立 1織豊政権 2桃山文化 3幕藩体制の成立 4幕藩社会の構造 第7章 幕藩体制の展開 1幕政の安定 2経済の発展	○織豊政権の統一過程とその政策を考察させる。○幕藩体制の特質を封建的身分秩序の形成や経済的基盤などを踏まえて考察させる。○文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治を取り上げ、幕政を考察させる。	期末考查	○ヨーロッパ人はなぜ東アジアに來航したのか。○徳川家は支配のためにどのような制度をつくったのか。○武士による統一政権はどのような社会をつくったか。	○	○	○
	12	3元禄文化 第8章 幕藩体制の動揺 1幕政の改革 2宝暦・天明期の文化 3幕府の衰退と近代への道 4化政文化	○享保の改革・田沼時代・寛政の改革の諸政策を考察させる。○文化・文政時代と天保の改革の失政から幕府の衰退をみる。○文化における近代化の芽生えを考察させる。		○寛政の改革期に幕府が直面していた問題は何か。○幕府は国内外の危機にどのように対応しようとしたか。	○	○	○
第3学期	1	◎センター試験対策の演習	※センター試験終了後、二次試験対策、私大対策の課外					
	2							
	3							

※行事等で変更になる場合があります。